

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算補足説明会

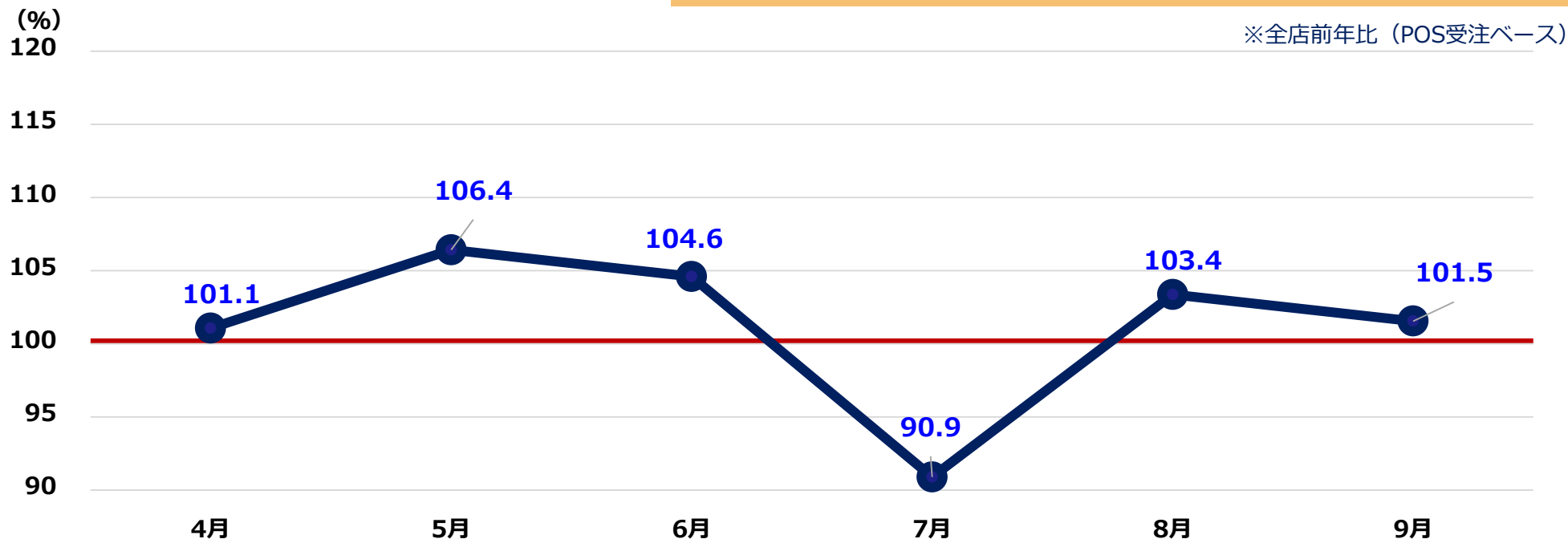
株式会社エディオン

2025年11月6日

1. 2026年3月期
第2四半期（中間期） 実績報告
2. 業績予想 および 出店計画
3. トピックス

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期） 実績報告

上期（中間期）の振り返り



上期(中間期)累計 100.8% (既存店 100.9%)

- ・ 7月は前年のハードルにやや苦戦したものの、全体を通じて概ね好調に推移しました。
- ・ 携帯電話は量販店への流入が続いており好調に推移しています。
- ・ また、Windows10サポート終了に伴うパソコンの買い替え需要も早期に高まり半期を通じて好調に伸長しました。

第1四半期 前年比 104.1% (既存店 104.0%)

- ・ 4月より全国的に気温の上昇が続き、季節商品を中心に好調に推移しました
- ・ ゲーム機の新商品の発売（6月）、携帯電話やパソコンの買い替え需要などもあり全体的に好調な推移となりました。

第2四半期 前年比 98.1% (既存店 98.2%)

- ・ 季節商品は夏本番前に前倒しでご購入される動きが顕著で、高水準ではあるものの7月は前年割れとなりました。
- ・ 引き続きパソコン・携帯電話等が好調で8月9月と前年をクリアしましたが7月の遅れを挽回できず第2四半期では前年割れとなりました。

連結損益計算書

百万円・%	2025年3月期 中間期累計			2026年3月期 中間期累計			
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	前年増減
売上高		380,500	107.9		385,668	101.4	5,168
売上総利益	30.17	114,779	107.7	29.89	115,287	100.4	508
販売管理費	26.4	100,281	104.7	26.3	101,500	101.2	1,219
広告宣伝費・販売費	6.5	24,773	105.9	6.5	24,971	100.8	198
人件費	10.7	40,700	103.0	10.8	41,491	101.9	790
設備費・その他管理費	7.7	29,194	105.2	7.6	29,268	100.3	79
減価償却費	1.5	5,612	110.0	1.5	5,769	102.8	156
営業利益	3.8	14,498	134.5	3.6	13,787	95.1	-711
営業外収益	0.2	822	96.4	0.3	1,052	128.0	230
営業外費用	0.1	293	50.6	0.1	486	165.6	192
経常利益	3.9	15,027	136.0	3.7	14,353	95.5	-673
特別利益	0.0	74	53.0	0.1	222	296.8	147
特別損失	0.1	259	65.5	0.1	515	198.8	256
税金等調整前中間純利益	3.9	14,842	137.5	3.6	14,060	94.7	-782
法人税等合計	1.3	4,760	132.9	1.2	4,669	98.1	-91
非支配株主に帰属する 中間純利益	0.0	50	0.0	0.0	54	108.6	4
親会社株主に帰属する 中間純利益	2.6	10,031	139.0	2.4	9,336	93.1	-695

業績サマリ

売上高
第1四半期は季節商品が特に好調に推移しました。
第2四半期はパソコン・携帯電話・ゲーム機などが好調に推移し累計では増収となりました。
出店：2店舗 閉店：2店舗

売上総利益
ゲーム機の新機種発売やパソコンの買い替え需要の高まりなどから、増益となったものの粗利ミックスで粗利率は前年より0.27pt下回りました。

販売管理費
売上高の増加に伴う変動費の増加のほか、子会社の増加やベースアップ等により販売管理費は増加しました。販売管理費率については0.04pt改善しました。

営業外収益
リコール対応手数料収入等により増加しました。

営業外費用
借入金利上昇に伴う支払利息の増加、CVC運営費用の計上により増加しました。

特別利益
フリーペーパー事業撤退に伴う補償金約200百万円

特別損失（主な内訳）
資産除去費用 +116百万円 閉店・改装等
固定資産除却損 + 86百万円 改装等

業績推移 (中間期)



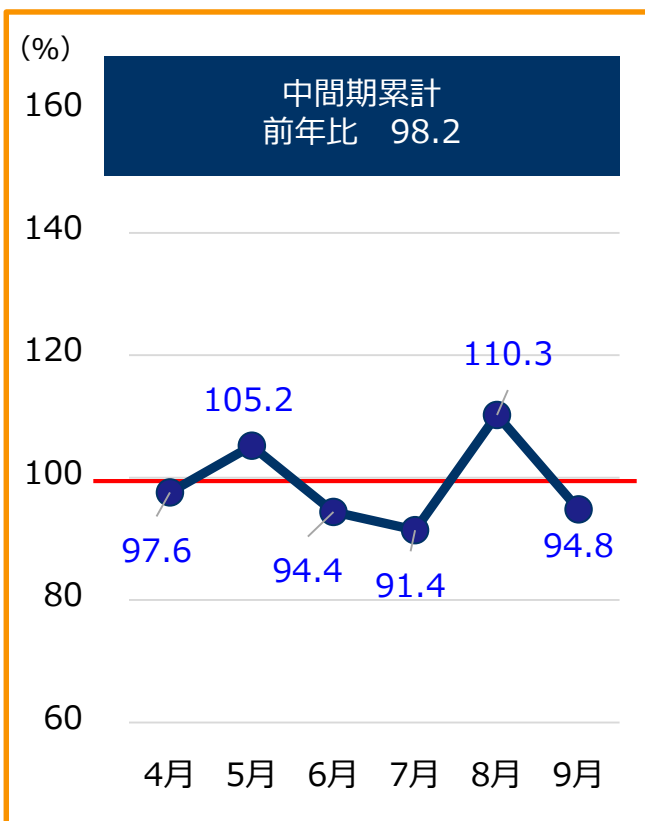
■ 売上高（会計方針変更前）においては、消費税増税前の駆け込み需要があった2019年度以降最高となりました。

■ 売上総利益率 当期実績 29.89% 前期 30.17% ▲0.27pt低下しました（ゲーム機・携帯等の影響）

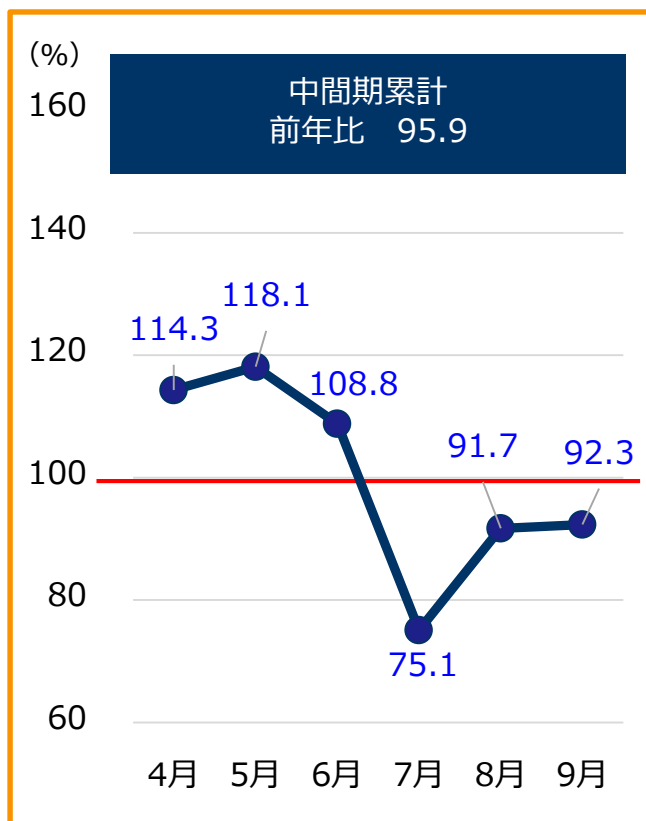
■ 販売管理費比率 当期実績 3.8% 前期 3.9% 0.04pt改善／経常利益率は3.7%となりました。

主要商品別受注売上 全店前年比（POS受注ベース）

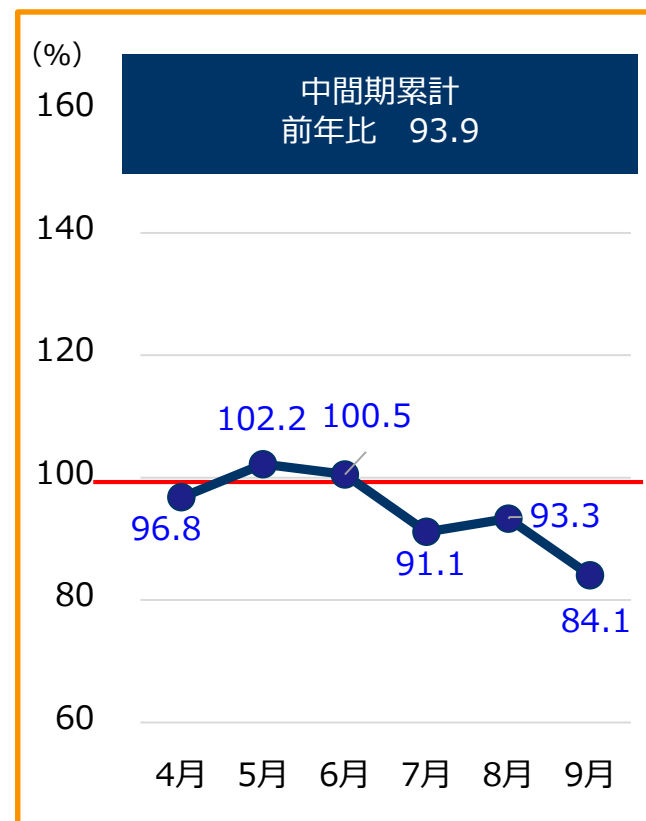
テレビ



エアコン

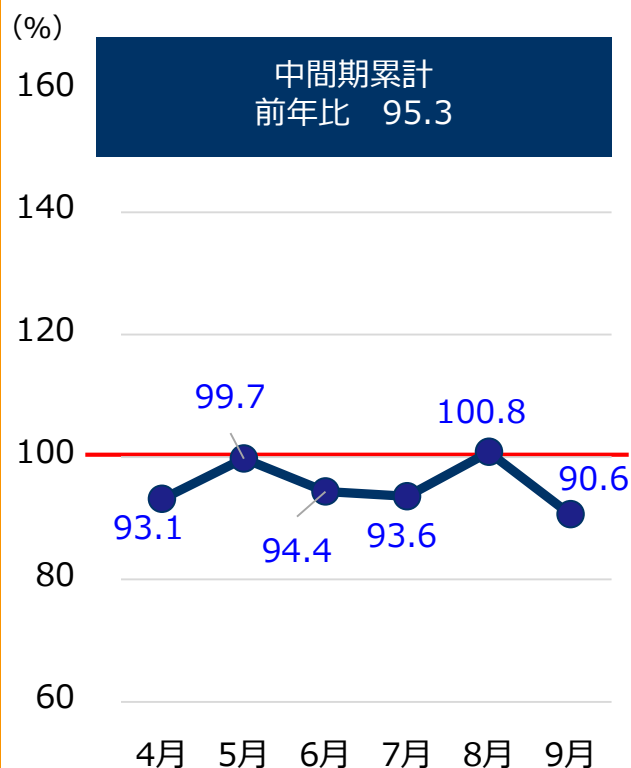


冷蔵庫



主要商品別受注売上 全店前年比（POS受注ベース）

洗濯機

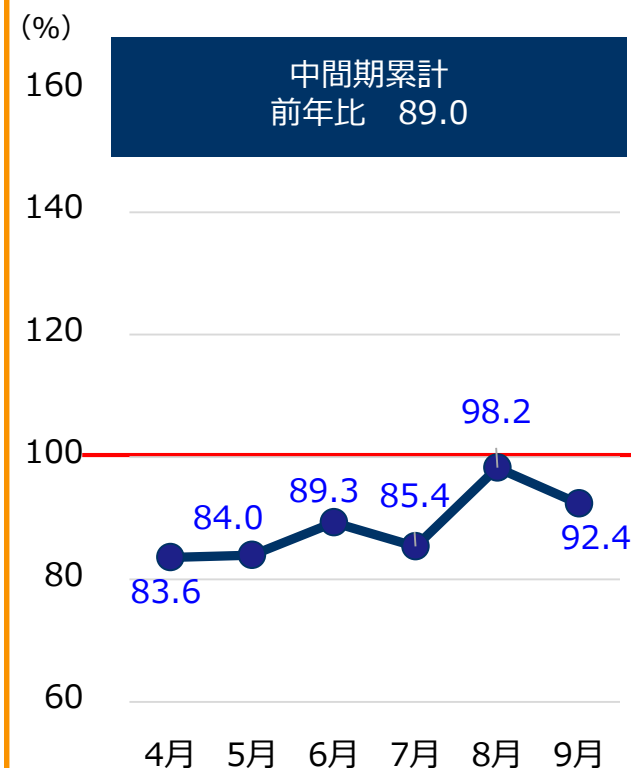


パソコン



ELS

(リフォーム)



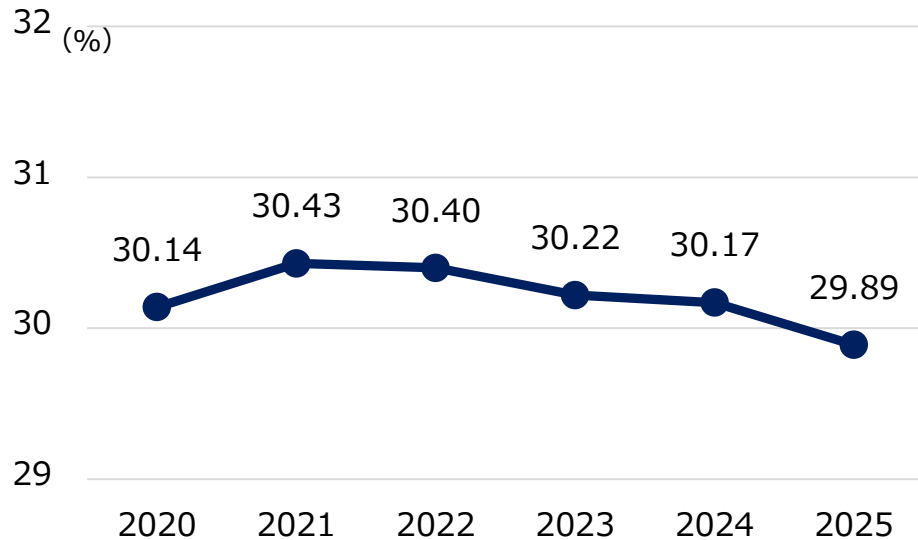
(参考) 携帯電話 (台数前年比)

第1四半期 119.9%

第2四半期 113.5% 上期累計116.6%

売上総利益率・販管費率の状況

売上総利益率



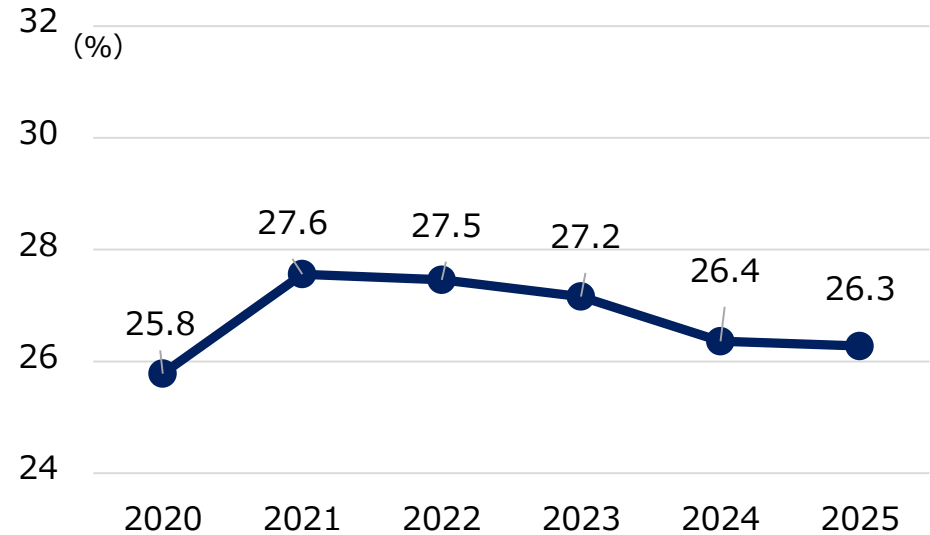
売上総利益率

当期 29.89% 前期 30.17% 前期差 △0.27pt (+5.0億円)

(主な要因)

- ・ パソコン、ゲーム機などの構成が高まったことにより粗利ミックスで低下
 - ⇒ パソコン 0.13%押し下げ影響
 - ⇒ ゲーム玩具 0.17%押し下げ影響

販管費率



販管費率

当期 26.3% 前期 26.4% 前期差 0.04pt改善*

*前期差は、表示単位未満（小数点第2位以下）の数値を含めて算出しています。

販売費及び一般管理費

当期 1,015億円 前期 1,002億円 前期差 12.1億円

(主な金額増加要因)

- 広告宣伝費・販売費 +1.9億円 (売上変動 +2.5億円)
- 人件費 +7.9億円 (ベースアップ等)
- 設備費・管理費 +0.7億円 (水光費 +0.5億円)
- 減価償却費 +1.5億円 (新店等)

連結貸借対照表

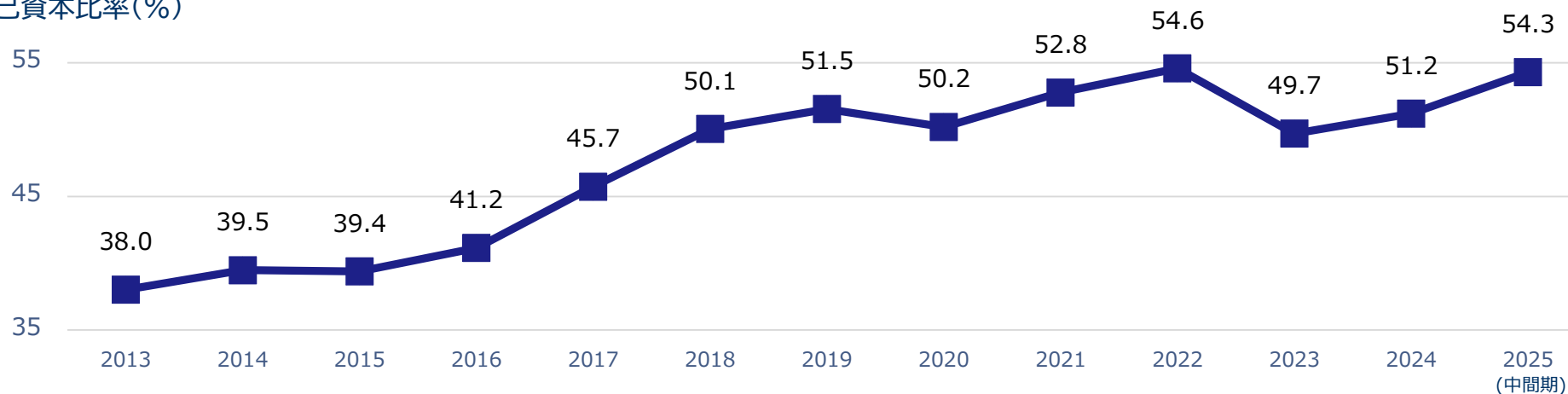
(百万円)

資産	2025年 3月末	2025年 9月末	増減
現金及び預金	8,834	9,060	225
商品及び製品	120,087	119,795	△291
その他	62,251	49,642	△12,608
流動資産	191,173	178,497	△12,675
有形固定資産	175,690	175,036	△654
無形固定資産	11,934	11,201	△732
投資その他の資産	56,032	57,514	1,482
固定資産	243,657	243,752	94
資産合計	434,830	422,250	△12,580

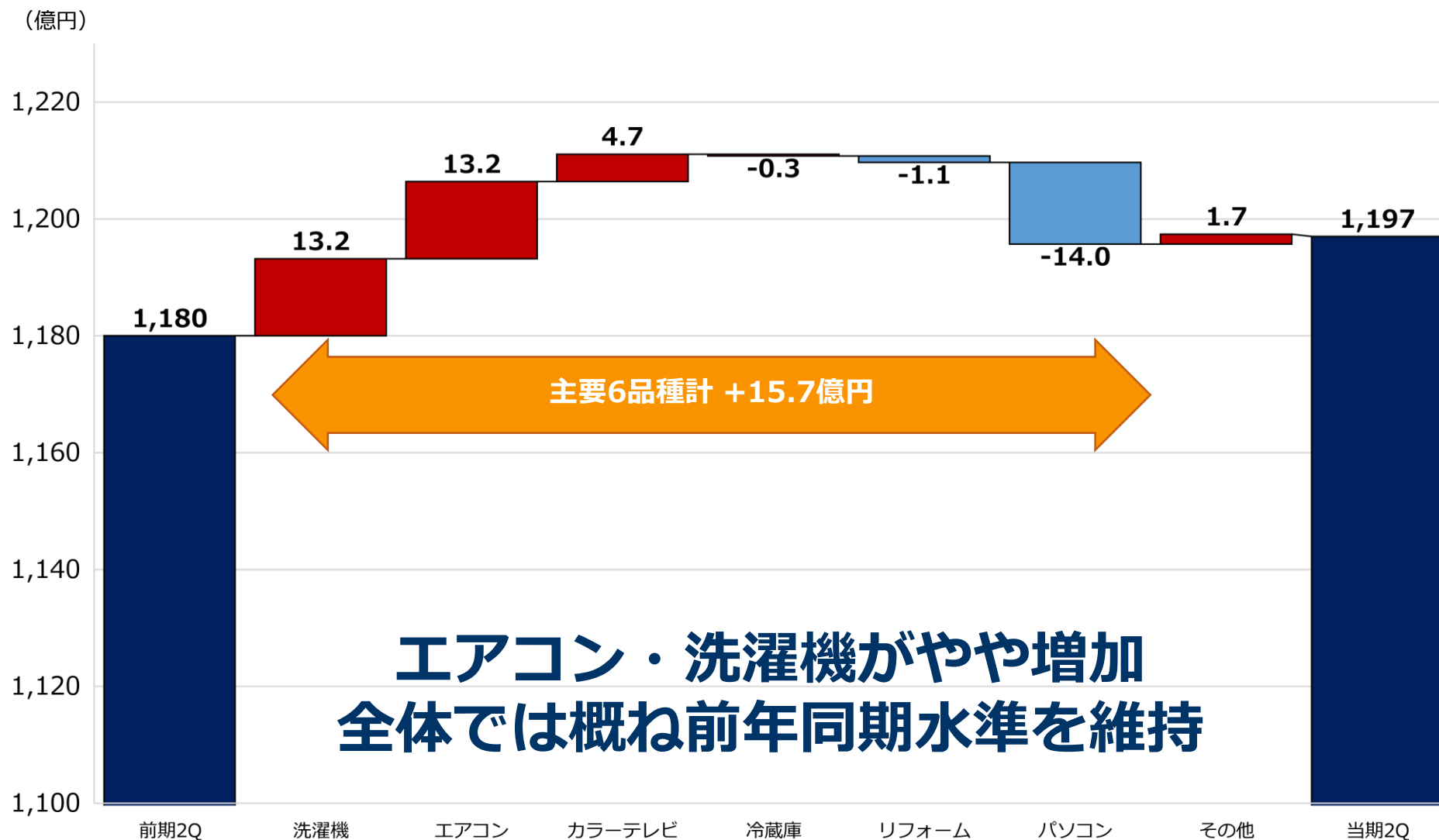
(百万円)

負債・純資産	2025年 3月末	2025年 9月末	増減
短期借入金	31,255	25,254	△6,000
1年以内返済長期借入金	3,470	9,290	5,820
1年以内返済社債	2,510	—	△2,510
流動負債	144,220	132,322	△11,898
長期借入金	40,667	32,817	△7,849
固定負債	67,664	60,002	△7,662
負債合計	211,884	192,324	△19,560
純資産	222,946	229,925	6,979
負債・純資産合計	434,830	422,250	△12,580

■自己資本比率(%)



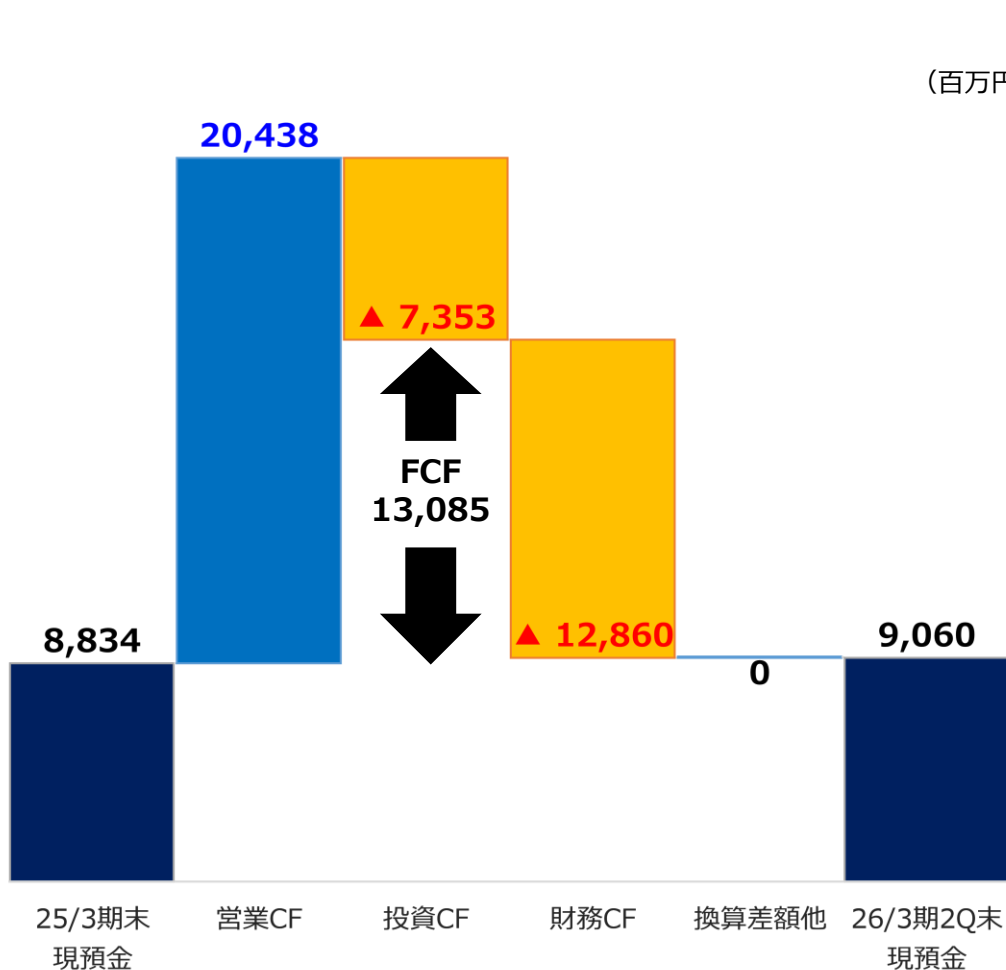
主要商品別在庫状況 (前年同期比較)



※ 1億円未満を切り捨て表示しています

連結キャッシュフロー計算書

- 営業キャッシュフローは当期利益とともに、売上債権の減少などもあり、204億円と高水準となりました。
- 投資活動に伴うキャッシュフローは前期並みで、フリーキャッシュフローは130億円となりました。



	2024年 9月末	2025年 9月末
税引前当期純利益	14,842	14,060
賞与引当金	501	69
売上債権 (△は増加)	5,707	8,659
棚卸資産増減 (△は増加)	△274	234
その他	10,306	2,872
小計	31,083	25,897
法人税等	△2,636	△5,225
その他	△145	△233
①営業活動CF	28,301	20,438
有形固定資産取得	△5,172	△4,575
その他	△2,115	△2,778
②投資活動CF	△7,287	△7,353
①+②フリーキャッシュフロー	21,013	13,085
短期借入金	△18,547	△6,000
長期借入金	△395	△2,016
自己株式取得	△1,997	△2,016
配当金支払	△2,225	△2,330
その他	△509	△497
③財務活動CF	△23,675	△12,860
①+②+③現金及び現金同等物の増減額	△2,661	224

2. 業績予想 および 出店計画

連結業績予想

百万円・%	上期		下期				2026年3月期				
	実績	前年比	当初予想	業績予想	前年比		当初予想	売上比	業績予想	前年比	前年増減
売上高	385,668	101.4	400,000	404,331	104.3	上方修正	790,000		790,000	102.8	21,870
売上総利益	115,287	100.4	112,000	113,213	104.7		230,000	28.92	228,500	102.5	5,634 調整
販売管理費	101,500	101.2	102,000	102,000	102.8		205,000	25.8	203,500	102.0	4,029 調整
広告宣伝費・販売費	24,971	100.8	24,467	24,467	103.4		49,790	6.3	49,438	102.1	995
人件費	41,491	101.9	41,604	41,604	101.6		83,100	10.5	83,095	101.8	1,434
設備費・その他管理費	29,268	100.3	29,949	29,949	105.5	上方修正	60,450	7.5	59,218	102.8	1,639
減価償却費	5,769	102.8	5,978	5,978	96.8		11,660	1.5	11,748	98.7	-40
営業利益	13,787	95.1	10,000	11,213	126.0		25,000	3.2	25,000	106.9	1,605
経常利益	14,353	95.5	10,000	11,646	124.9		26,000	3.3	26,000	106.8	1,649
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,336	93.1	4,300	5,163	126.3		14,500	1.8	14,500	102.7	381

- 売上高 既存店前年比：上期実績 100.9% / 下期 103.9% / 通期予想 102.5%
- 粗利率 上期実績の影響から減少見込み 通期予想 29.11%→28.92% (前期実績 29.01%)
- 販売費および一般管理費
(前期からの主な増減要因)
 - ・ 広告宣伝費・販売費：新店分および売上変動分の増加
 - ・ 人件費：給与ベースアップ
 - ・ 設備費・管理費：新店家賃等の増加、移転・改装等の一時経費

出店・移転・閉店実績 および 計画

出退店計画 / 実績			新設	移転・建替	閉鎖	増減	期末店舗数
2025年3月期	実績	通期	7店舗	1店舗	7店舗	±0店舗	454店舗
2026年3月期	計画	通期	3店舗	5店舗	-	+3店舗	457店舗
	実績	1Q	2店舗	2店舗	1店舗	+1店舗	455店舗
		2Q	0店舗	1店舗 (非家電)	1店舗	-1店舗	454店舗



2025年10月 飯田インター店（長野県）S&Bオープン

エディオングループ計

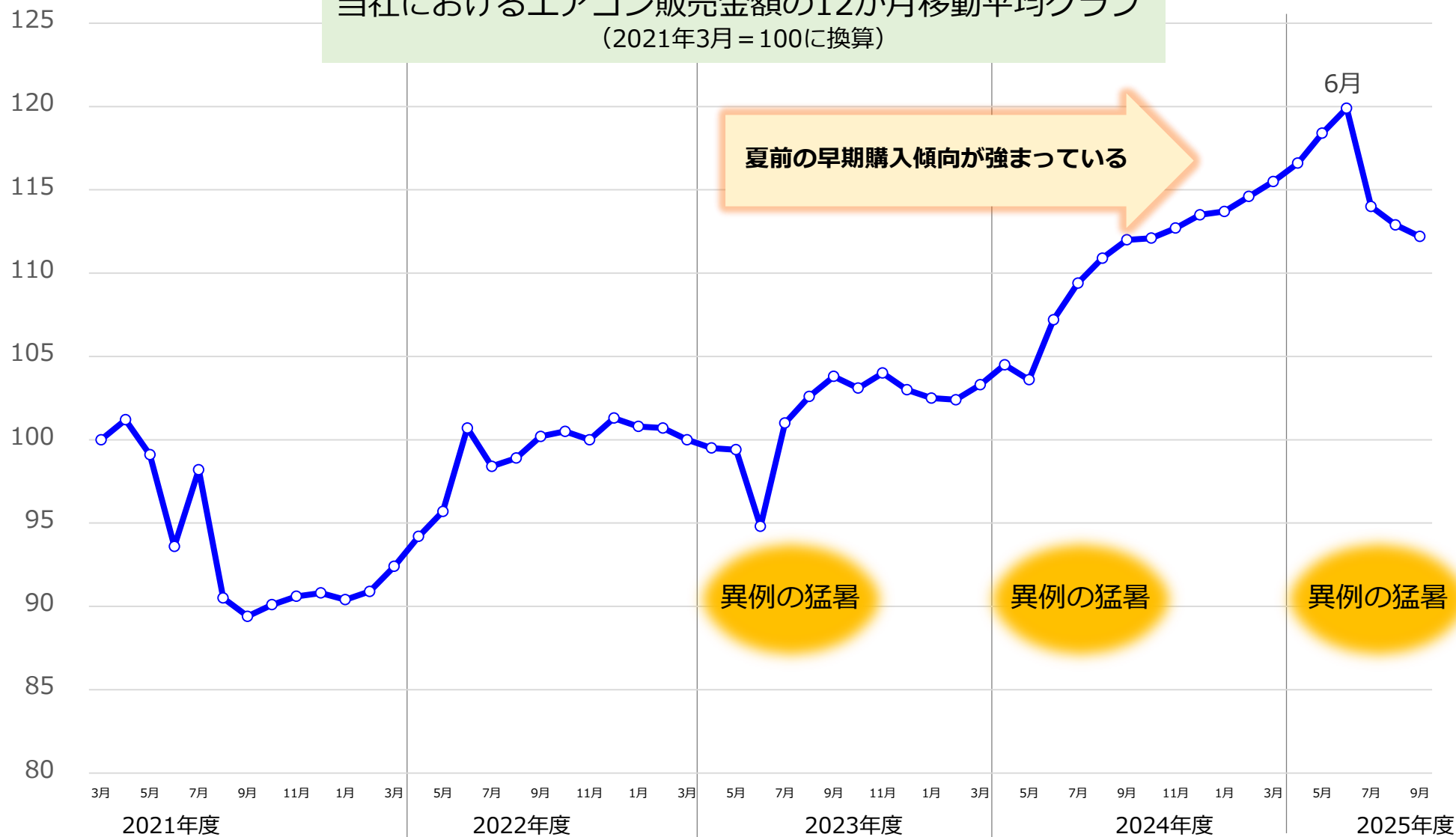
1,183 店舗

直営店 454店舗 ■ フランチャイズ店 729店舗

※2025年9月末時点

3. トピックス

エアコン販売動向の変化

当社におけるエアコン販売金額の12か月移動平均グラフ
(2021年3月 = 100に換算)

生産性向上への取り組み

■ 業務のスタンダード化

⇒ 標準化によるオペレーションの統一

業務軽減

作業の単純化

稼働効率向上

お客様への接客時間を創出



■ 地域特性に沿った品揃え・サービスを展開

⇒ 個店の個性を重視し、魅力ある店舗づくり

■ 併せて売場レイアウトの見直しを実施

上期 8店舗実施

⇒ 効率的でお買い求めしやすい店舗へ進化



個店レベルで業務の見直しを行い、一人あたりの生産性向上を重視

PB商品の強化

くらしを、新しい角度から。

 angle



洗剤・柔軟剤自動投入&スマートアプリ対応 IoT家電の登場



お客様の声をカタチに

- 最新の商品ラインナップはイーアングルサイトでご確認ください

<https://www.edion.com/eangle>

サービスメニューの強化



- **クリーニングサービス**
⇒ プロの技で徹底洗浄



- **パソコンサポート**
⇒ 安心のパック価格
各種デジタルサポートに対応



- **修理サポート**
⇒ Web出張修理の自動受付
「家電の119番」



- **電気工事**
⇒ エアコン・アンテナなど
専門スタッフが工事全般を賜ります



- **ELSメニューのご相談・サポート**
⇒ プチ・リフォーム
太陽光・パワコンの機種交換
(パワコンの寿命は約10年)
EV・PHEV・蓄電池のご相談

詳しくはエディオンサービスサイト>> <https://service-info.edion.jp/service/>



CMもリニューアル!



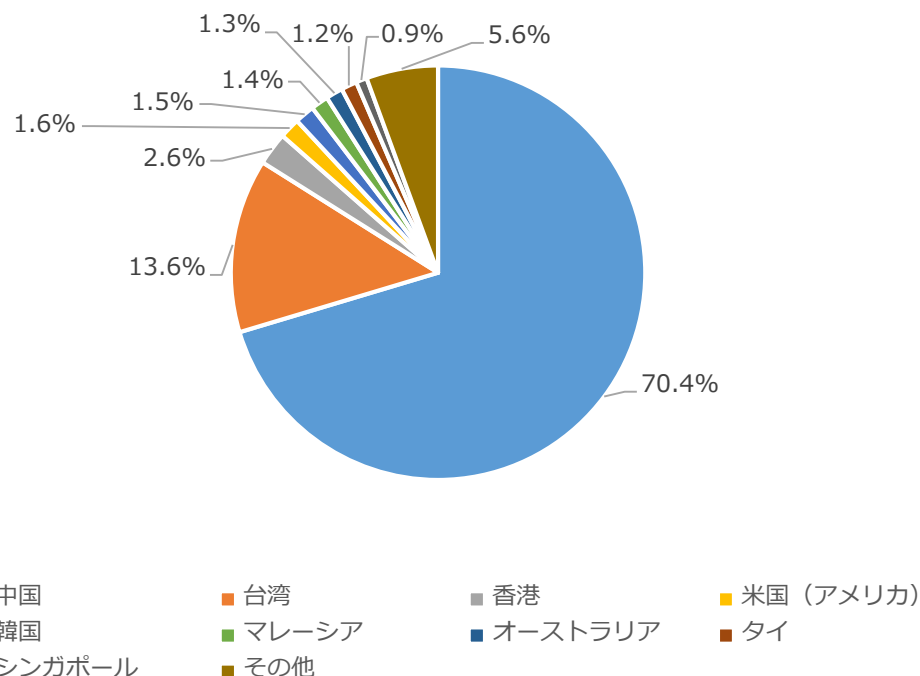
インバウンドの取り組み

期間限定ポップアップ店舗

期間：2025年8月9日（土）～ご好評につき出店期間を延長



関西空港エアロプラザ店：国別売上構成



EXPO 2025 大阪・関西万博開催期間中

関西国際空港をご利用された53カ国の訪日外国人の方がご利用（免税売上）

EDION女子陸上競技部

矢田みくに	第109回日本陸上	女子10000m	2位
矢田みくに	第26回アジア陸上	女子10000m	3位
水本佳菜	第109回日本陸上	女子5000m	3位
細田あい	シドニーマラソン 2025	マラソン	6位
矢田みくに	東京2025世界陸上	女子10000m	20位
藤井菜々子	東京2025世界陸上	女子20km競歩	3位

日本人
トップ

日本
新記録

日本女子
初メダル

日本選手権で日本新記録を更新した藤井菜々子選手



スポーツを通じて 地域社会を元気に

世界アーチェリー選手権大会 (2025/韓国・光州)



- リカーブ男子団体 3位
河田悠希・青島 鉄也
- 混合団体 3位
河田悠希

日本
新記録



河田悠希選手



青島 鉄也選手



■ 詳細はコーポレートサイトを参照ください
<https://www.edion.co.jp/ir/library/integration>

監査等委員 座談会

当社は2024年6月に監査等委員会設置会社
 となることに伴い、1年間の
 企業価値向上策など、思



よく知る人々トップに選んだということ自体が、「経営を改革し」一層の発展を遂げようという意気込みが感じられる。一般的に監査役は経営を監視する

マネジメントメッセージ

持続可能な成長の
 実現に向けて

2024年10月1日現在
 代表取締役社長
 久保 光



ESG・サステナビリティへの取り組み



Environment

- CO₂排出量削減目標：
2030年度目標 2013年度比46%削減
2050年度目標 カーボンニュートラル
- 省エネ店舗の推進：
Nearly ZEB認証取得2店舗
- 太陽光発電システム設置拠点数：87拠点
P P Aモデルの導入も推進



- CO₂削減ロードマップの策定・開示
(有価証券報告書)



Social

- 働き方改革の推進：
残業ゼロへの取り組み、定年延長・再雇用
- 健康経営優良法人（大規模法人部門）：
6年連続取得
- 地域貢献活動：
障がい者の自立支援（パラリンアート協賛）
スポーツを通じた地域貢献
（陸上、アーチェリー、サッカー）



障がい者アートを応援しています



- 経営理念の実践
「お客様の豊かな暮らしを永続的に支える企業」であるための取り組み強化



Governance

- サステナビリティマネジメント：
サステナビリティ推進委員会設置（2022年6月）
サステナビリティ方針制定（2023年5月）
- 取締役会の透明性向上と充実：
社外取締役比率 50.0%（8名）
女性取締役比率 12.5%（2名）
- 指名報酬委員会：独立社外取締役比率 75%



- 監査等委員会設置会社へ移行
業務執行における意思決定の機動性・迅速性の向上（2024年6月）

※詳細は当社コーポレートサイトをご確認ください：<https://www.edion.co.jp/sustainability>

株価・配当推移

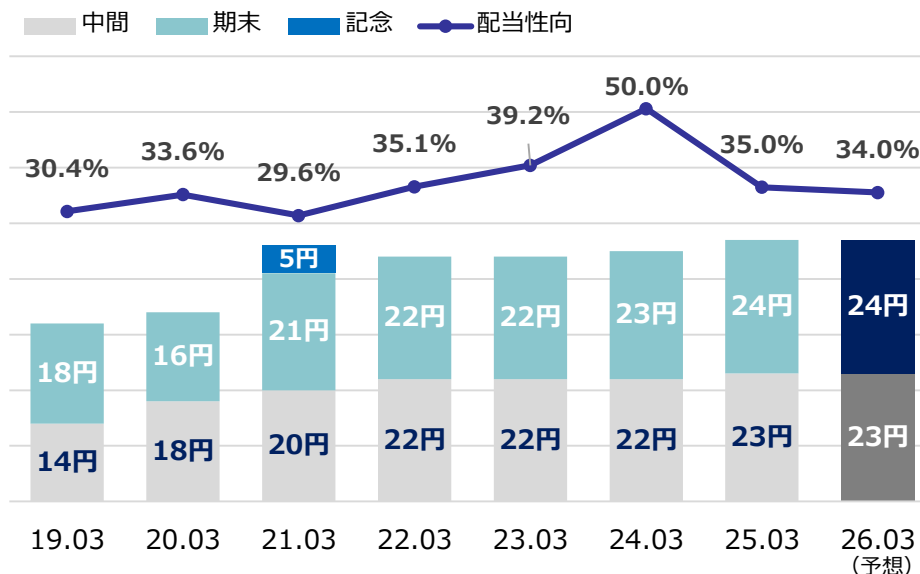
ROIC向上を指標に掲げ、資本効率の向上とともに健全なバランスシートの維持を重視します

1. 配当政策

株主への利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当については、業績および経営環境等を総合的に加味し配当性向30%以上の安定配当を基本方針としています。

2. 自己株式の取得

資本効率の向上に資する株主還元策を前提に、業績・経営環境や投資および株価を含めた市場環境を総合的に考慮し機動的に実施します。



■ 株価推移



お得な株主優待制度



注意事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- ・本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料につきましては、無断で複製または転送等を行われないうお願いいたします。

2025年11月6日